

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-303886

(43)公開日 平成6年(1994)11月1日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	FI	技術表示箇所
A01K 97/20		9227-2B		
97/10	Z	9227-2B		
97/22	Z	9227-2B		

審査請求 有 請求項の数3 書面(全3頁)

(21)出願番号 特願平5-126458

(22)出願日 平成5年(1993)4月16日

(71)出願人 593100916

小松 輝芳

東京都荒川区荒川5丁目34番1号

(72)発明者 小松 輝芳

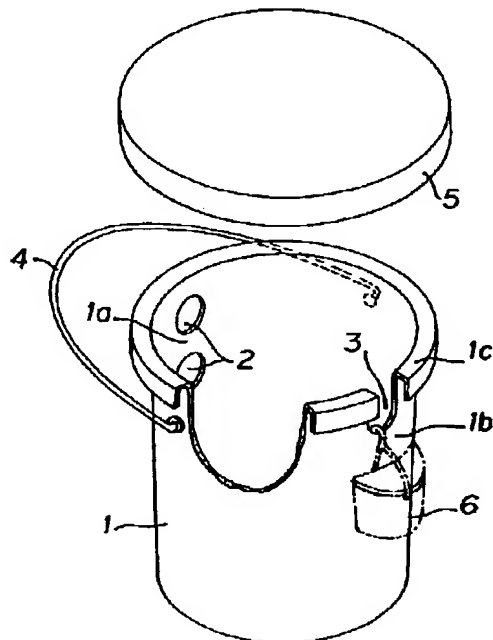
東京都荒川区荒川5丁目34番1号

(54)【発明の名称】 釣り用バケツ

(57)【要約】

【目的】バケツを工夫することによって、本来のバケツの役目の他に、釣り竿掛けや簡易椅子の役目も果たす釣り用バケツを提供することを目的とするものである。

【構成】釣り用バケツ本体1の胴部の上方一側部1aに所要数の釣り竿7の基端7aを挿入する挿入孔2を縦列状態に穿設するとともに、前記挿入孔2の反対側となる釣り用バケツ本体1の胴部の上方一側部1bに、切欠上端が釣り用バケツ本体1の上縁1cに及ぶ釣り竿7の基端部7bを嵌合する切欠部3を形成したこと特徴とする釣り用バケツ。



【特許請求の範囲】

【請求項1】釣りに用バケツ本体の胴部の上方一側部に所要数の釣り竿の基端を挿入する挿入孔を縦列状態に穿設するとともに、前記挿入孔の反対側となる釣り用バケツ本体の胴部の上方一側部に、切欠上端が釣り用バケツ本体の上縁に及ぶ釣り竿の基端部を嵌合する切欠部を形成したこと特徴とする釣り用バケツ。

【請求項2】前記釣り用バケツ本体の胴部の上方一側部に形成する釣り竿の基端部を嵌合する切欠部は、UまたはV字状に形成したことを特徴とする請求項1に記載の釣り用バケツ。

【請求項3】前記釣り用バケツは、その開口部を覆う腰掛け兼用の蓋を有することを特徴とする請求項1に記載の釣り用バケツ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、釣り竿の基端を差し込んで支持する場所がない、例えば堤防や岸壁上等において、簡単に釣り竿の基端を差し込んで水平もしくは所望の角度に立てて支持することができる釣り用バケツに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、例えば堤防や岸壁上等において、釣り竿の基端を差し込んで支持することができない場合には、釣り竿を堤防や岸壁上等に倒して置いたり、また、折り畳み式の三脚の上に釣り竿掛け部を有する釣り竿立てを買い求めそれを使用していた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところが、前記のように、釣り竿を堤防や岸壁上等に倒して置いた場合には、魚の引きによる釣り竿の先の微妙な動き、すなわち、あたりが分からないので、釣り竿をあたりに合わせて上げるタイミングを逸してしまう、という問題があった。

【0004】また、折り畳み式の三脚の上に釣り竿掛け部を有する釣り竿立ては、比較的に高価で、また、釣り竿と共に持って行くのが面倒で、折角買い求めたものを使用しないことが多いという問題があった。

【0005】釣りに行く時には釣った魚や撒き餌（こませ）を入れるためのバケツや簡易椅子を持って行くことが多い。本発明は、このバケツを工夫することによって、本来のバケツの役目の他に、釣り竿掛けや簡易椅子の役目も果たす釣り用バケツを提供することを目的とするものである。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明は、前記目的を達成するために、釣り用バケツ本体の胴部の上方一側部に所要数の釣り竿の基端を挿入する挿入孔を縦列状態に穿設するとともに、前記挿入孔の反対側となる釣り用バケツ本体の胴部の上方一側部に、切欠上端が釣り用バケツ本体の上縁に及ぶ釣り竿の基端部を嵌合する切欠部を形

成した釣り用バケツとしたものである。

【0007】また、前記釣り用バケツ本体の胴部の上方一側部に形成する釣り竿の基端部を嵌合する切欠部は、UまたはV字状に形成し、また、前記釣り用バケツ本体の開口部を覆う腰掛け兼用の蓋を有する釣り用バケツとしたものである。

【0008】

【作用】この釣り用バケツは、以上のように構成されているので、釣り竿の基端を、釣り用バケツ本体の胴部の上方一側部に所要数縦列状態に穿設した挿入孔に差し込み、釣り竿の基端部を釣り用バケツ本体の胴部の上方一側部に形成した切欠部に嵌合することにより、釣り竿を水平もしくは所望の角度に立てて支持することができる。

【0009】この際、この釣り用バケツに水を入れておけば、その重量が重くなり、釣り竿の重さで釣り用バケツが倒れるようなことがなくなる。

【0010】また、釣り用バケツ本体の胴部の上方一側部に所要数縦列状態に穿設した挿入孔のうち、上方の挿入孔に釣り竿の基端を差し込み、釣り竿の基端部を切欠部に嵌合すると釣り竿はほぼ水平に支持され、また、下方の挿入孔に釣り竿の基端を差し込むほど、釣り竿の角度が大きくなって立てられて支持される。

【0011】また、前記釣り用バケツ本体の開口部に蓋をすると、それに腰を掛けることもでき、簡易椅子としての役目も果たす。

【0012】

【実施例】以下、本発明の釣り用バケツの実施例を図面とともに詳細に説明する。図1は本発明の釣り用バケツの一部を切り欠き、蓋をしない状態の斜視図であり、1は釣り用バケツ本体で、2はその胴部の上方一側部1aに所要数縦列状態に穿設した釣り竿7の基端7aを挿入する挿入孔、3は前記釣り竿7の基端7aを挿入する挿入孔2の反対側となる釣り用バケツ本体1の胴部の上方一側部1bに、切欠上端が釣り用バケツ本体の上縁1cに及ぶ釣り竿7の基端部7bを嵌合する切欠部であり、この切欠部3の形状は、UまたはV字状に形成されている。

【0013】4は釣り用バケツ本体の上方部に取り付けた把手、5は釣り用バケツ本体の開口部を種う腰掛け兼用の蓋であり、この蓋5の上面には、図示しないが、クッションを設けることにより、座り心地がよくなる。

【0014】本発明の釣り用バケツは、以上のように構成されているので、図2に示すように、釣り竿7の基端7aを、釣り用バケツ本体1の胴部の上方一側部に所要数縦列状態に穿設した挿入孔2に差し込み、釣り竿7の基端部7bを釣り用バケツ本体1の胴部の上方一側部に形成した切欠部3に嵌合することにより、釣り竿7を水平もしくは所望の角度に立てて支持することができる。

【0015】この際、釣り用バケツ本体1の胴部の上方

3

一側部に所要数縦列状態に穿設した挿入孔2のうち、上方の挿入孔2に釣り竿7の基端7aを差し込み、釣り竿7の基端部7bを切欠部3に嵌合すると、釣り竿7はほぼ水平に支持され、また、下方の挿入孔2に釣り竿7の基端7aを差し込むほど、釣り竿7の角度が大きくなって立てられて支持される。

【0016】また、この釣り用バケツに水を入れておけば、その重量が重くなり、釣り竿7の重さで釣り用バケツが倒れるようなこともなく、また、前記釣り用バケツ本体1の開口部に蓋5をすると、それに腰を掛けること

【0017】また、釣り竿7の基端7aを釣り用バケツ本体1の胴部の上方一側部に所要数縦列状態に穿設した挿入孔2に差し込み、釣り竿7の基端部7bを支持する部分を、釣り用バケツ本体1の胴部の上方一側部に形成した切欠部3とすることにより、魚が釣針に付けた餌を食いあたりがあると、釣り竿7の基端7aは前記挿入孔2に差し込んだままで、釣り竿7をすぐ持ち上げることができる。

【0018】また、前記切欠部3には餌箱6等を掛けることもでき、また、釣り用バケツ本体1の開口部を蓋5で覆い、前記挿入孔2あるいは切欠部3から、入れられた魚は逃がさないで排水することができる。また、前記挿入孔2あるいは切欠部3はこれらを使用しない時はゴム栓で塞いでおくことができる。

【0019】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の釣り用バケツは、釣り用バケツ本体の胴部の上方一側部に所要数の釣り竿の基端を挿入する挿入孔を縦列状態に穿設するとともに、前記挿入孔の反対側となる釣り用バケツ本体の胴部の上方一側部に、切欠上端が釣り用バケツ本体の上縁に及ぶ釣り竿の基端部を嵌合する切欠部を形成したので、釣り竿の基端を、釣り用バケツ本体の胴部の上方一側部に所要数縦列状態に穿設した挿入孔に差し込み、

4

釣り竿の基端部を釣り用バケツ本体の胴部の上方一側部に形成した切欠部に嵌合することにより、釣り竿を水平もしくは所望の角度に立てて支持することができる。

【0020】この際、釣り用バケツ本体の胴部の上方一側部に所要数縦列状態に穿設した挿入孔のうち、上方の挿入孔に釣り竿の基端を差し込み、釣り竿の基端部を切欠部に嵌合すると釣り竿はほぼ水平に支持され、また、下方の挿入孔に釣り竿の基端を差し込むほど、釣り竿の角度が大きくなって立てられて支持される。

【0021】また、この釣り用バケツに水を入れておけば、その重量が重くなり、釣り竿の重さで釣り用バケツが倒れるようなこともなく、また、前記釣り用バケツ本体の開口部に蓋5をすると、それに腰を掛けることもでき、簡易腰掛けの役目も果たす。すなわち、この釣り用バケツは、本来のバケツの役目の他に、釣り竿立てと簡易腰掛けの役目を果たすことができる。

【図面の簡単な説明】

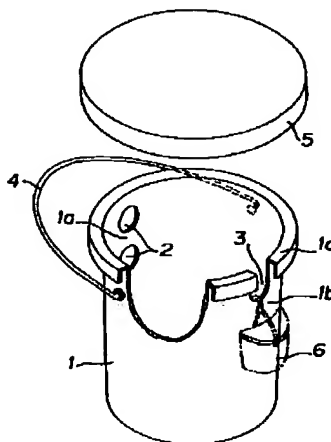
【図1】本発明の釣り用バケツの一部を切り欠き、蓋をしない状態の斜視図である。

【図2】本発明の釣り用バケツの使用状態を示す斜視図である。

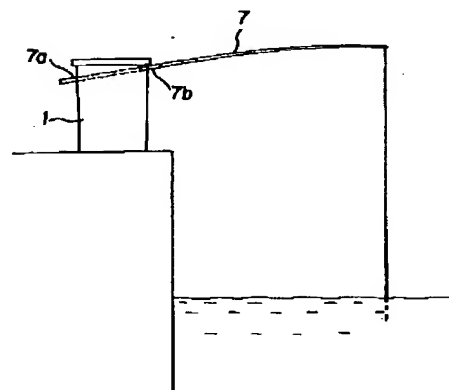
【符号の説明】

- | | |
|----|-----------------|
| 1 | 釣り用バケツ本体 |
| 1a | 胴部の上方一側部 |
| 1b | 胴部の上方一側部 |
| 1c | 釣り用バケツ本体の上縁 |
| 2 | 釣り竿の基端の挿入孔 |
| 3 | 釣り竿の基端部を嵌合する切欠部 |
| 4 | 把手 |
| 5 | 蓋 |
| 6 | 餌箱 |
| 7 | 釣り竿 |
| 7a | 基端 |
| 7b | 基端部 |

【図1】



【図2】



PAT-NO: JP406303886A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 06303886 A
TITLE: BUCKET FOR FISHING
PUBN-DATE: November 1, 1994

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
KOMATSU, TERUYOSHI

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME COUNTRY
KOMATSU TERUYOSHI N/A

APPL-NO: JP05126458
APPL-DATE: April 16, 1993

INT-CL (IPC): A01K097/20, A01K097/10 , A01K097/22

ABSTRACT:

PURPOSE: To provide a fishing bucket playing not only the role of the original bucket but also the roles of a fishing rod rest and a simple chair.

CONSTITUTION: A fishing bucket is characterized by perforating insertion holes 2 in a vertically arranged state, the insertion holes 2 being used for inserting the base ends 7a of the desired number of fishing rods 7 and being formed in the upper one side part 1a of the body of the fishing bucket main body 1, and forming a notch 3 in the upper opposite side part 1b of the body of the fishing bucket main body 1, the notch 3 having its upper end reaching the

upper end 1c of the fishing bucket main body 1 and being
used for fitting the
base end 7b of the fishing rod 7.

COPYRIGHT: (C) 1994, JPO